

平成 2 8 年 6 月吉日 発行

平成 2 8 年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 Earth as Mother



NPO 法人 Earth as Mother

平成 28 年度 事業 計画 書 (案)

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

事業・活動目的／主旨 地域再生＜自然と環境回復、人と心身の健康回復＞

I. 各事業計画

【研 修・交 流 会 事 業】

別紙 平成 28 年度 年間スケジュール 参照

【W e b 事 業】

- ◆HP の随時更新とリニューアル
アクセス数目標 95,000 件以上
- ◆メールマガジンの定期発行と配信内容リニューアル
発行部数目標 1,000 部以上
- ◆生産物等の販売用ネットショップの開設
- ◆実施予定事業／プロジェクト毎の情報発信
(メルマガ、ブログ、ホームページなど活用)

【農 事 実 践 事 業】

◆食育食農イベント

(平成 28 年 : 2016 年)

＜愛知県豊田市 藤岡地区、猿投町＞

- 5 月 生きものを守る田園で、素手での田植え体験 (1)
- 8 月 自然豊かな田園にて生きもの調査と野草観察 (2)
- 10 月 収穫祭！生きものを守る田園で素手での稲刈り体験 (3)
- 12 月 今年一年の慰労会！もちつき大会！！ (4)

◆農事ボランティア募集

毎日、豊田市内の圃場にて、田畑の農事体験をご提供予定。

※農事事業部の人員不足により無料ボランティアを随時募集。

食農実践じゃについては昨年度に引き続き募集を停止。



◆事業拡大

- 豊田市内の遊休農地や耕作放棄地解消を豊田市と共に進めていく。
(豊田市の「農地バンク制度」等を活用。)
- 「ブランド創出」を進める中で、生産物の流通、加工、販売を通して事業運営の資本、運転資金の拡充を目指す。
- 藤岡ブランド名産物創出事業は継続。地域貢献をすると共に事業としての運営を目指す。
- 外部団体様、企業様と連携し食育・食農イベントを行い、事業の一環とする。
- 引き続き、農事業専従者に住居と生活費の補助を実施。
- 2016年4月に豊田市より生活困窮者自立支援就労訓練事業所の認事業所に認定、当事者に寄り添いながら、自然の中で農的体験を通じ、生きる目的意識、気づき、居場所を見出せるよう生活自立・社会自立支援サポートを実施開始。

◆販路拡大（マルシェ販売）

- 専従者を一昨年度より雇用、愛知県内や豊田市等にて販売を実施。また、宅配事業を県内外にて販路拡大を目標に実施、収益事業化を促進。
- 氣力、氣力天領米、Earth as Mother の3点を商標登録し独自の表記名を守り、ブランド化することで、より独自性をもった作物を栽培し、加工品を開発、販売していく。
- ホームページリニューアルを外注業者にて実施。リニューアルに伴いネットショップを開設し幅広いお客様の確保をしていく。

出展予定イベント

- あいちの農林水産フェア（予定） ○ とよた食と農ビジネス交流会（予定）
- 自然の薬箱 ○ STREET & PARK MARKET ○ 興正寺マルシェ
- 東本願寺マルシェ ○ 姫コラソン
- 平成28年度愛知県本庁舎公開イベント（予定）

【コミュニティ構築事業】

- 県・市町村、産官学、民間企業との共同/共働/協働事業を展開し、マザリーアースプロジェクトの推進、構築、実践を進める。
- 愛知県外にて、マザリーアースプロジェクトの講演会を実施。
- 8月に食と農（農福）映画上映会、11月に食農&福祉のシンポジウムを開催。
映画やシンポジウムを行うことで当会が定款に掲げる各事業において以下の活動を同時に行うこととなります。WEBシステム情報交流事業においては他団体交流、環境保全。医療福祉健康促進事業においては福祉事業。コミュニティ構築事業においては



農業事業・食農・食育・マルシェ等。必要事業においてはE・COMMUNITY フォーラム等のその他必要事業が該当します。各事業において意識改革の重要性と必要性などがあり開催する。

【社会福祉貢献事業】

◆就労移行支援

障がいを伴う方への、就業移行支援の一環として「食育・食農活動（農作業など）」を療育・訓練サービスとして提供していく。

※療育・訓練の体験プログラム充実を図る為、学生等のボランティアスタッフも拡充を図る。

◆農事校外体験学習体験（高等学校向け）

農事校外学習体験として登校拒否児等も含む愛知県内の中高等学校生を受け入れ実施。参加者の学生さんに、健育・食農の体験・訓練の場を提供すると共に食のありがたさや安全性等と感謝を伝えていく。

◆福祉事業展開

地域のニーズに即した社会福祉活動を計画し実践する。

○アース・アズ・マザー・グレイス(株)と共同の福祉・農事イベントを開催する。

○福祉事業に関わる人材の育成、派遣を実施する。

【イベント事業】

(平成 28～29 年：2016～2017 年)

食育・食農イベント 開催 別紙 平成 28 年度 年間スケジュール 参照

【国際交流準備事業】

(平成 28 年：2016 年)

5 月 12 日 中京大学工学部教授、宮田義郎先生の香港留学生による
田植イベント開催

6 月 11 日 OKAZAKI NEWS 25 周年プレイベント

7 月 17 日 国際交流事業<OKAZAKI NEWS 25 周年記念>

11 月中旬 りぶらまつり 2016 参加

12 月下旬 国際交流会 年末感謝祭に協賛

※おかざきニュース様主催のイベントに共催または協賛として開催。



【環境保全事業】

- ・豊田市池島町での実践活動を継続するため、農事専従者 猿投寮の庭にある小さな森林・竹林、藤岡・猿投地区の圃場及び周辺を活動フィールドとしていく。
- ・また、上記において再生・整備した土地においてうどやしいたけの栽培を試みる。活動拠点周辺に散在するアカシアの木やれんげ、畑・田んぼを活かし(日本)みつばちの巣箱を2箱調達し、養蜂を始める予定。

【その他の事業】

◆他団体交流として広報活動出展・参加予定

- モリコロパーク春まつり・秋まつり
- 姫コラソン(愛知、東京)
- その他必要とする地域事業に参加予定

◆豊田市共働事業 市民農園開設運営と市民農園指導教室

(平成 28 年 : 2016 年)

- 第 1 回 6 月 19 日 「作物は土がいのち」実践!! 液肥とぼかし作り
- 第 2 回 7 月 24 日 とびだせ!! 飛騨市有機農業推進農地へ視察研修
- 第 3 回 10 月 30 日 「生きた種苗は、良い土とミツバチ受粉がいのち」

(平成 29 年 : 2017 年)

- 第 4 回 1 月 22 日 食育健康講座:安心安全な野菜でキムチづくり

II. 今期方針

(1) 全体

- 既存会員様へ、郵送やメールでのご案内やマザリーアースタイムズ発行などを行い、サービスレベルの向上を目指す。
- 自然農法、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない野菜作物の普及を促進する。その過程で、安心安全な作物を提供する機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成できるよう活動を推進する。また、同時に生き物・自然との共生・生物多様性の重要性を、活動を通して伝え実践する。
- 4 月豊田市福祉課より認定を戴き生活困窮者の方々の受け入れ自立支援就労準備訓練を農業を通じてサポートに寄与する。
- マザリーアースプロジェクトへ協賛・共働して頂ける団体・企業・個人の方々を広く募集し、理念・活動の拡散を目指す。



- 認定NPO取得に向け、寄附金募集を会内外にも実施。
- 事務所移転を昨年度5月実施。今年度総会后、移転登記。家賃支出が昨年10月分より未払い金発生に伴い、総会后支払開始する。
- 子供たちに自然環境と共生出来る農業体験や田舎体験が出来る環境を藤岡・猿投地区にて整備。
- コミュニティ構築事業のマルシェ独立収益事業に伴い会計業務の改善をはかり正しい納税を実施。
- 定款変更の見直しを随時行い、会の運営をより良く改善・推進する。

①事務局・総務

- 確実な業務の遂行と迅速な対応、他事業部との連携強化を図る。
- 会員様への情報の提供をタイムリーに配信する。
- 他団体交流にてご縁を頂いた方への情報を配信する。
- 助成金を活用し、運営費の補てんを目指す。

②企画運営室

- マザリーアースプロジェクト事業運営に向けた各事業のプランニング・プロデュースを実施する。
- 各運営委員会の総括としての役割。
各運営委員会によるイベントの企画／運営支援を実施する。
- 事務局における業務全般の支援をする。
- 外部団体様、企業様と連携し食育・食農イベントを実施する。
- 当会イベント等の広報事業を事務局と常に連携を取る。

(2) 各事業部

①心の学校

- 「心の学校」の理念を広く伝え、心の使い方・考え方の学びの場を提供する。
- 「心の学校」の理念を正しく伝え、普及出来る指導者の養成を目指す。
- 当会の理念、マザリーアースプロジェクト構想を伝える場を目指す。
- マザリーアースプロジェクトのリーダーとなる人財の発掘、育成を目指す。
- 県内外にて「心の学校」を開催する。

②農事

- 「心の学校」課外授業の場として再認識し、思い・行動・感謝を正しく実践する。
- 当会の理念、マザリーアースプロジェクト構想を伝える場を目指す。
- 個々の連携を強化し、計画的な活動、運営の実施を目指す。



- 継続的な活動をしていく為の運営費の充足を図る。
- コミュニティ構築事業の農事は、自給自足の実践と農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない農業を推進する。
- 助成金を活用し、運営費の補てんを目指す。

③福祉

- 「心の学校」 課外授業の場として再認識し、考え方・言葉使い・行動を正す。
- 当会の理念、マザリーアースプロジェクト構想を伝える場を目指す。
- 障がいを伴う方の就労訓練の場を提供し、就労補助を行う。
- 助成金を活用し、運営費の補てんを目指す。

④寺子屋

- 当会の理念、マザリーアースプロジェクト構想を伝える場を目指す。
- ものづくりを通して国内外の子供から大人まで、創造する心と技を養う場を目指す。
- 昔ながらのものづくりを伝承し、文化を継承する場を目指す。
- 活動の理念を伝える為の取り組みとして、外部広報活動の一環としても実施する。
- 助成金を活用し、運営費の補てんを目指す。

⑤環境保全

- 当会の理念、マザリーアースプロジェクト構想を伝える場を目指す。
- 「生物や自然との共生」を学び、伝え、実践し、モデルとなる場を目指す。
- 森林の再生、保全方法を学び、自然環境の復元を目指す。
- 人々が交流し、地域の人と関わりながら、地域の環境保護を目指す。
- 青少年により良い環境で自然との共生体験が出来るように昔の田舎暮らし体験活動が出来る場を創り上げる
- 助成金を活用し、運営費の補てんを目指す。

以上

